

天沼中だより

交通事故

令和2年10月6日
杉並区立天沼中学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumachu/>

校長 水野 英利

「キィー・・・ガシャン」衝突の勢いで自転車の運転手は宙に飛び、車のボンネットでバウンドするとそのまま地面にたたきつけられました。「ドスン」という鈍い音が観ている私たちに衝撃と恐怖となって響きます。先日行われた自転車安全講習会。スタントマンにより交通事故がリアルに再現されました。直視した全校生徒はその恐怖とヒヤッとする体験から交通安全への意識を高めくれたことでしょう。

交通事故。私にはもう20年以上前になりますが、切なくやるせない思い出があります。

私が担任した3年生のE君は、ひょうきんでお調子者、さらに探求心が旺盛ですぐになんにでも飛びつくのですが失敗ばかりしていました。私が顧問をしていた野球部では4番を打ちキャッチャーをしていましたが、そんな性格なので落ち着きがなくサインも見落とし指示もめちゃくちゃで試合中叱られてばかり。そんなE君もやがて卒業を迎え、野球を続けたいと都立の強豪校に入学しました。入学してからも中学の練習に時々姿を見せていきましたが、夏を過ぎてピタッとその足が止まります。「最近来ないなー」ふと部員に向かって私がつぶやくと「E先輩、野球部やめたって聞きました」と返ってきました。「え、本当か」少し苦々しくも思いましたがE君の今を想像すると不安な気持ちになりました。

そんなことも忘れかけていた1月のある日、出勤したばかりの私に同僚が駆け寄り「おい、憲一が事故にあったらしいぞ」というのです。憲一はE君の下の名前です。「え、いつ」「それでどうなんだ・・・」「わからん」会話は途切れ心配のまま一日が過ぎました。翌朝、一本の電話が学校に入りました。私宛だといわれ出てみると、それはE君の母親でした。「もしもし・・・事故にあったと聞いたのですが・・・」しばらく間が空いてから「・・・憲一が・・・憲一が・・・死んじゃいました・・・」突然とした私はどう返事したかも覚えておらず、すすり泣く声を聞き、母が受話器を置くのを待ちました。

その後、何が起きたのかがわかりました。1月のある日の夜、憲一は友達に呼び出され、誘われるままバイクを運転していました。通っていた高校の周りをぐるぐると回るだけでしたが、憲一は無免許でヘルメットもかぶらず運転していました。交差点で右折をしようとしたとき対向車に気づかず衝突したといいます。救急車で運ばれましたが、ほぼ即死の状態でした。

それから三日ほど経った日中に、E君の母から電話がありました。「先生、憲一が家に帰ってきました。・・・先生、会いに来てくれませんか」私は学校

に断りを入れ、すぐにE君の家へ向かいました。社宅の3階までの階段は足早になるはずが、玄関が近づくにつれ険しい山を登るように変わっていました。家に通されると奥の間で布団に伏した人型が見えます。そばに近寄ると母が顔かけの布をゆっくりと外してくれました。そこに現れたのは傷一つないきれいで無垢で無邪気な憲一の顔でした。「憲一・・・お前ってやつは」以前のように叱ってみても答えてはくれません。「先生、触ってあげてください」母の一言に、まだ信じたくない自分に見切りをつけて私はほほを撫みました。そんな私を見ながら母は「興味本位でバイクに乗ったそうです。初めてだったらしいです。・・・ヘルメットもしないで・・・」そう言いながら流す涙を見て私は思わず「うんー」とうなり、憲一の顔を見ながら「悔しいです」とだけいってお別れをしました。

学校へと戻りながら「なんで防げなかった」と自問自答を繰り返しました。E君の父親は警察官です。それが歯止めにならなかったのか。在学中にもっと自制できるように教えられなかつたのか。野球部をやめる前にどうして相談に来てくれなかつた。しかし、どう後悔しても憲一は二度と戻ってきません。

その後、E君一家が引っ越したことを風の便りに聞きました。2年後に届いた賀状には千葉県の住所が書かれています。思い出を綴った文面に、悲しみが今も続いていることが容易に読み取れました。黙祷

自転車安全講習会の翌朝、いつものように荻窪駅前交番の前を通った時、いつもは見過ごしていた都内の交通事故の掲示板に目が留まりました。『昨日の死亡0、負傷106』。新型コロナウイルスの感染者数が毎日報道されていますが、その数に匹敵するほど交通事故も起こっています。死亡者数は減ってきたものの毎年3千人以上の方が亡くなっています。この秋の交通安全運動中も全国で87名の方が命を落とし、自転車乗車中は10名にのぼったそうです。事故には必ず原因があります。それも一つとは限りません。講習会で事故の恐怖を直視した子どもたちでも、気がゆるんだり魔がさしたりすることもあるでしょう。加害者にも被害者にもならないよう、日ごろから事故を誘発する原因をお子さんの内面からも探し、危険因子は取り除かなければなりません。大切な命を守るために。



夏休みに考えたこと・・・生徒の作文から

夏休みに書いた作文の中から、各学年一人ずつ紹介します。それぞれ「歌の中の言葉」から深く考えを巡らせてまとめていきます。「多様性を認める言葉」、「つらさを乗り越える言葉」、「人と人をつなぐ言葉」など、歌の中の言葉は人の心を支えたり、励ましたり、生き方を考えさせたりしてくれますね。

自分らしく生きたい

3年

「Born This Way」 私は、レディー・ガガさんのこの歌が大好きです。この曲は、あらゆる多様性を認めて自分自身を強く肯定する歌です。「神様があなたを完璧に作ったと言っていた」という歌詞からもすべての人が自信をもって自分らしく生きてほしいとの願いを感じることができます。この歌は今世界中が目指しているものにとてもぴったりな歌詞だと思います。しかし、現実には、未だに「差別」や「ネットでの誹謗中傷」などたくさんの問題があり、多くの大切な命が失われています。今回、「差別」「誹謗中傷」の二つについて考えてみました。まず、「差別」の問題は、民主主義の最先端の国である米国においても「黒人」や「LGBT」などたくさんのが問題になっています。無実の黒人男性を白人警察官が取り押された際に不幸にも死亡させてしまい、そのことをきっかけに全米中でデモが広がっている様子をテレビで何回も見ました。前のオバマ大統領が黒人であったのに、未だにそのような差別があることにとても驚きました。

また「ネットでの誹謗中傷」が問題になっています。見えない相手から様々な誹謗中傷を受けることで自殺する方もいます。時々、自分の好きなユーチューバーが心無い配慮を欠いたコメントをしているととても悲しく思います。皆が「自分らしく」普通にいられて、レディー・ガガさんの歌のように、多様性を尊重し合える世界になつたら良いなと思います。

大切な言葉

2年

何事もポジティブに捉えよう。私がそう考えるようになったのは、「ながらればまたこのごろやしのばれん憂しと見し世ぞ今は恋しき」という和歌のおかげだ。この歌は百人一首に選ばれていて、藤原清輔朝臣という人が詠んだ。「生きながられば、つらい今が懐かしくなるだろうか。つらかったあの時も今は恋しく思われるのだから。」と言う意味だ。

私がこの歌に助けられたのは、小学校6年生くらいのときだ。その当時、私は仲の良かった友達とよくけんかしていた。仲直りできないのがつらくて泣きそうになったことさえある。だが、この歌を知って、現実を明るく捉え直すことができた。つらいのは変わらないけれど、また楽しいこと出会いえて、その時にはこのことも懐かしく思い出せるだろうと考えられた。実際、今になってみれば、小学校の時、けんかした友達のことも懐かしい。また会って話してみたいと思えるし、中学生活は楽しいことでいっぱいだ。

今年はコロナウイルスの流行で、いろいろなことが制限されている。楽しみにしていた友達とのお泊り会、頑張ろうと思卷いていた吹奏楽のコンクール、他にもたくさん。自粛ばかりで嫌になることもある。でも、「ながらればまたこのごろやしのばれん」だと考えて、ポジティブに毎日を過ごしていきたい。

介護疲れによる人権問題

1年

「幸せなら態度で示そよう」。私は介護について考えたとき、この歌詞が思い浮かびました。

しかし、世の中には気持ちを伝えたくても身体が不自由などの理由でうまく伝えられない人がいます。介護を受けなければ生活することが難しい高齢者の方などです。その中でもベッドから起き上がりこと、会話をするのが難しいことが、介護人のストレスとなり、事件になるケースがあります。

杉並区でも4月上旬に80代の夫が自宅で眠っていた同じく80代の認知症の妻を刃物で殺害しました。コロナにより、家にいる時間が多くなつた今、介護の負担増加でこのような事件の発生が心配されています。高齢者側が何も伝えてくれないなどのイライラから事件に発展することが多いですが、私は伝えられないだけで、認知症であつても思いはあると考えています。家族が自分の為に時間を使って世話をしてくれているのは伝わっています。私も足の不自由な祖父に連れ添つて散歩に行ったとき、「ありがとう」と言われました。祖父の言葉は聞こえづらくなつましたが、それでも表情で伝えてくれます。高齢者だって精一杯伝えようとしてくれるのなら、こちらも応えたいと思いました。

言葉・表現の意味のとらえ違いで大きな事件になることを改めて知りました。一人でも多くの方にこのことを知つてもらい、高齢者の人権を守つていきたいです。

9/19 防災教育の日

本校では、防災教育やボランティアマインドの醸成を学校の特色ある教育として取り組んでいます。毎年9月の防災教育の日には、「天沼版 HUG 訓練（避難所運営ゲーム）」や震災救援所訓練の一環としての AED 訓練、放水訓練、防災食づくりなどの活動を行っていますが、今年度は「防災講演会」を行いました。防災士、日本災害食学会の守真弓先生に無理をお願いして、学年ごとにご講演をお願いしました。守先生は、天沼中のレスキュー隊が講師として年3回ほどお世話になっている方です。今年はなかなかレスキューの活動ができない状況はありますが、体育馆で、さまざまな災害、中学生に必要な知識とともに、ちょっとした工夫で「共助」がしやすくなる例として、「JINRIKI」という車いすの補助具を実際に体験させてくださいました。生徒の振り返りを見ると、「災害は忘れないうちに次がやってきている」とか、被害に遭った時の立ち直り方としての「3T」の話が心に残った、という感想が見られました。生徒の皆さんには3Tを覚えていたら、家族の方にも教えてあげてください。（正解はこの学校だよりのどこかに）



講演の様子



車いすに段差はキツイ



JINRIKI をつけると軽くなる



災害食のおみやげをいただきました。

帰りに震災救援所連絡会と防災課から、災害食のおみやげも配されました。

**土曜授業 6 時間目…
がんばっています**



3年保健体育科



1年音楽科



2年国語科



1年社会科



1年国語科



2年社会科



3年数学科

**今年も天沼中
レスキュー隊 88名！**

例年のような発足式や合同訓練も中止、校内の防災学習会もこれまではありませんでしたが、今後、どこかで活躍する機会があることも想定し、今年も杉並区では中学生レスキュー隊を募集することになりました。天沼中で生徒に呼びかけたところ、88名が参加を希望してくれ、例年どおりの規模になりました。例年通り、新隊員にはキャップとウインドブレーカーが配布される予定です。

11月14日（土）には、期末考査前ではありますが、杉並区総合震災訓練（桃井はらっぱ公園）に8名が参加する予定です。

令和2年度天沼中レスキュー隊（敬称略）

自転車 安全教室



10月1日、スタントマンにより、「手放し」「携帯電話」「イヤホン」「並走」「逆走」「二人乗り」「斜め横断」「傘さし」などルール違反による自転車の危険な乗り方や、トラックとの内輪差の巻き込み事故、時速40キロの衝撃など、車との接触場面の実演を見せていただきました。区内中学校では3年に1回実施していますが、荻窪警察署の方や、区の土木事務所交通安全担当の方から、「参加態度がすばらしかった」とお褒めの言葉をいただきました。

10月17日(土) 今年度の運動会はこう変わります

【削減・縮小】

- ① 午前中ですべての競技を終了するため、競技を削減する。
 - ・入場行進、校歌斉唱はしない等。
- ② 朝練習、学年練習等を削減する。
- ③ 団優勝、学級優勝、団体種目優勝を表彰、新記録はとらない。
- ④ 団旗は作成しない。シンボルマークの描かれた旗のみ作る。

【キープディスタンス・感染予防】

- ① 入退場門を一つにし、生徒席を広く取り、席の間を広くする。
- ② 応援席ではマスクを着用する。
- ③ 密になりにくく、接触を最小限に考えた競技を選定する。
- ④ 来校者を制限する。(家族のみ。生徒1名につき2名まで。)

今年度の運動会は、感染拡大防止のためPTAの係活動のご協力をいたしかねず運営いたします。本来多くの方のご協力のもと、学校行事が支えられている形が望ましいところではありますが、できる限り感染の広がりを防ぐための方策として、「最小限の人数での簡略化した活動」を検討した結果、保護者の皆様に下記のお願いをすることにしました。ご理解ご協力をお願いいたします。

保護者の皆様へお願い

- ・ **お配りした入場カード（ピンク色）に記入してお持ちください。**生徒1名につき、ご家族2名までご入場いただけます。
- ・ 正門からお入りいただき、必ず受付でカードをお渡しください。
- ・ 不特定多数の接触を避けるため、受付を少人数の学校支援本部の方に依頼しています。スムーズに受付でできますようご準備をお願いいたします。
- ・ PTA配布の名札をお持ちください。名札をお持ちでない方は、警備上、受付でシールを貼っていただきます。
- ・ **自転車はお断りしています。**
⇒駐輪場として使えるスペースが狭く、昨年度までの運動会ではなるべくご遠慮くださいとお知らせしても、駐輪場が満杯になり、整理する係が必要な事態がありました。が、自転車の整理などで不特定多数の方が触れたものに手を触れて感染拡大を招かないとも限りません。また、学校の近隣の路上に駐輪されると運動会の運営をストップして教員がパトロールをしなければならなくなります。ご不便をおかけしますが、くれぐれもお守りいただけますようお願いいたします。
- ・ スマホ等での写真・動画の撮影はご遠慮ください。
⇒スマホ等通信機能付き端末での撮影はご遠慮いただいております（通信機能のないデジカメ等はかまいませんが、くれぐれもご家庭内でのみご覧ください）。PTA係活動でのパトロールや呼びかけがありまので、ご参観の保護者の皆様ご自身でお気を付けください。
- ・ **大声での声援はご遠慮ください。**
⇒生徒の頑張る姿に声援を送りたいお気持ちちは、生徒にとって、とても嬉しいとは思いますが、今年度は声以外での応援をお願いいたします。
- ・ マスク、タオル類、水筒をお持ちください。
⇒手洗いの励行のため、タオル類をお持ちください。また、冷水器の使用を制限しておりますので、保護者の方も水筒をご持参ください。
- ・ **保護者エリアでの密を避けてください。**
⇒イスは用意しませんので、皆様立ち見となります。お互いに、密にならないよう気を付けていただき、譲り合ってください。マスクを外して水分をとる場合など、特にお気を付けてください。立ち見がつらい方は簡易イスをお持ちいただくことは問題ありません。

祝 ご誕生

英語科・2A担任・梅田達郎教諭

第二子 (令和2年8月7日生)



飲むこと、寝ることが
大好きです。By 梅田